

川田市長と

まちかど

開催報告

タウンミーティング

開催概要

日時: 令和6年10月30日(水) 午前10時から11時

会場: 有都福祉交流センター

参加者: 10名

テーマ: まちづくり

タウンミーティングの流れ

- ① 開会
- ② 市長から説明（開催の目的と概要、八幡市の現状と課題 等）
- ③ 参加者と市長との意見交換（テーマについて意見交換）
- ④ 閉会

【意見交換の主な内容】



参加者

バス路線が無くなる危機感を持っている。橋本駅になぜコミュニティバスが停まらないのか。
そして、公園整備について力を入れて欲しい。



市長

公共交通について、今年予算を計上し、駅への乗り入れ等も含めて再編の検討を行っております。
また、公園整備について、たくさん意見をいただいております。担当部署と魅力のある公園整備に向けて、話をしてみたいです。



参加者

欽明台地域から直接市役所へ行く公共交通路線がなく、乗り継ぎでしか行けず不便。今後、どのような利便性を踏まえ考えていくのか。



市長

ご指摘の通り、欽明台地域の路線のご意見もいただいております。現在再編を考えているところですが、民間の路線バスも減少しております。乗り継ぎも含めて、利便性を上げてまいりたいと考えております。



参加者

はり・きゅう・マッサージ施術費について、京田辺市は補助制度があるが八幡市はない。

また、コミュニティバスについて、ルートを昔から考えてほしいと言っている。そして、消防分署ができたのに救急車が配備されていない。



市長

はり・きゅう・マッサージ施術費について、近隣自治体の状況や過去の経過を確認させていただきます。

コミュニティバスを含めた公共交通について、今年度当初予算で、再編に500万円計上し検討を行っております。しかし、年度途中で路線廃止が行われる等、前提条件が変わっています。そのため、今年の9月議会で400万円追加補正を行い、中長期で便利な公共交通の議論を行っております。

東部分署につきましては、新名神高速道路の全線開通した際の交通事故の災害出動対応のため整備したのですが、高速道路の開通が遅れており、全線開通した際に救急車を配備する予定です。

現在も八幡市消防本部(署)からいち早く駆けつける体制を整えておりますので、ご理解をお願いします。



参加者



市長

公共交通に関して、久御山町で実施されているデマンド乗合タクシー「のってこタクシー」の様な運行は八幡市では考えていないのか。

ご指摘の久御山町の例を含め、色々な形で公共交通の維持を考えております。

今年度の再編業務で調査を行い検討を進めているところです。



参加者

四季彩館について、風呂が故障し、宿泊及び入浴事業が休止となっている。以前は夏の時期は少年野球等のスポーツ団体が使用し、にぎわっていた。にぎわいが無くなったのは、休止が原因であると思うが、どうお考えか。



市長

四季彩館は、現在、風呂釜が壊れており、修理に多大な費用がかかります。ご指摘の通り、毎年夏期はにぎわっていたのですが、通年で赤字となっており、現在一旦、休止させていただいてます。しかし、四季彩館の活用の幅が狭まっているのは事実であり、今後、どのようにしていくのかが大きな課題と考えておりますので皆様からご意見等をいただけたらと思っています。



参加者

企業誘致について、最終的には人集め、人口流出に歯止めをかけるため、自治体もいろんな補助金を支出している。

待っていても企業は来ないため、積極的にアピールする必要がある。もっと八幡市の魅力を出す必要がある。



市長

企業誘致について、新名神高速道路の全線開通等で物流企業に来ていただきました。

私も就任前から、八幡市に企業誘致を行い、市民の皆さんに還元できる仕組みを作りたいとの思いを訴えさせていただいています。

物流だけでなく、ものづくりの企業等の誘致を行い、雇用に繋がることも考えていきたいと思っています。市民の皆さんの暮らしに繋がり、豊かになる企業誘致を考えていきたいと思っています。



参加者

八幡市全体の未来に向け、方向性をはっきりする必要がある。



市長

今回のミーティングでは、エリアごとに話をしているので八幡市東部のミクロ目線でお話をさせていただきましたが、まちづくり全体としては大きく3ついえると思っています。

まずは、文化観光の場所に経済的に繋がる仕組みの動線を作り、まちににぎわいを与えるということ。2つ目が健康福祉で、行政サービスの向上を図ること。今、八幡市でも健康施策に力を入れています。3つ目は産業で、企業誘致をはじめとする産業レベルをどのように上げていくかが大事であると思っています。